

翔け！ 多入高校 School Topics

Vol 18

■問い合わせ 佐賀県立多入高等学校 ☎75-3191

佐賀県立多入高等学校の旬な話題などをご紹介します。

多入高小高連携授業



11月26日、多入高校で市内小学部児童を対象に、多入高校の系列の特色を活かした体験授業が行われ、東部校・中央校5年生、西浜校4年生、西浜校4年生が参加しました。

連携授業は、生徒の学びの再確認と定着、児童との交流を通じて「コミュニケーション」の大切さを学んでもらうことを目的に行っているもので今年で8年目を迎えます。

授業に先立ち、永田彰浩校長が「いい思い出になるように1日を楽しんでください」とあいさつ。授業では、各系列の生徒と教員が

小高連携授業の様子

【バリアフリー体験(健康福祉)】電子オルゴール作り(工業技術)



▲車椅子での目線を体感する児童



▲はんだを使いながらオルゴールの基盤を加工



▲マイコンカーのプログラミング作業

【マイナス196℃の世界！液体窒素を体験しよう!!(自然科学)】



▲液体窒素の仕組みを説明する安部泰生先生



▲力の入れ具合を確認しながら黄銅を加工



▲写真を取り込んで思い思いの名刺を作成。最後は名刺交換を行いました。

【文鎮作り(工業技術)】

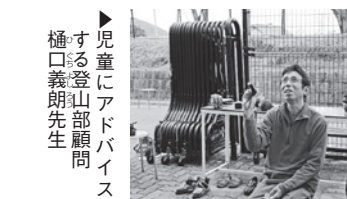
【ミニマイコンカーを動かしてみよう(マルチメディア)】

【パソコンによる名刺の作成(商業ビジネス)】

講師を務め、人文科学、自然科学、健康福祉、マルチメディア、商業ビジネス、工業技術系列に分かれ、化学実験やバリアフリー体験、電子オルゴール作り、アニメーション作成やパソコンによる名刺の作成など、児童は興味・関心に合わせて授業に臨みました。



▲西浜校児童を対象に行われたクライミング体験



▶児童にアドバイザーする登山部顧問樋口義朗先生

多入高に新たな風を!! 充実した学校生活を演出 多入高生徒会



「改革」を公約に掲げ、生徒会長に立候補した平間伸之さん。「体育祭では、新たな種目を企画し、先生との調整にも苦労しましたが無事に終えました」と話し、また「最初は生徒同士がまとまりのない状態だったものの、行事を通じて一つの目標に向かってまとまり出てきたときが一番嬉しく思いました」と活動のやりがいを語りました。



学校行事の企画・運営など学校生活の思い出の一幕を担う多入高生徒会。今回は新旧生徒会長、副会長へ生徒会活動の魅力、やりがい、目標についてインタビューを行いました。



▲今年の体育祭で新たに企画した『背中渡し』

▶(左から)旧会長の平間さん、副会長の二重さん、大垣内稲斗さん



「司会など人前で話す機会が増え、自信ができました。会長をしっかり支えることができたとおもいます」とこれまでを振り返りました。

▶レオクラブによる多入まつりでのボランティア活動の一角



▶(左から)新会長の平間さん、副会長の二重さん、大垣内稲斗さん



新生徒会長 大垣内 稲斗さん

多入高の良さを「発展」させたい

今年度生徒会長を務める大垣内さんは、前年度副会長を務め「ボランティア活動を通じて多入高の良さを発展させたい」と話しました。

登山部の部長も務め「リーダーシップを発揮して生徒会を引っ張っていきます」と会長としての抱負を話します。

学校の美化を目標に副会長に立候補した円城寺毅大さん。生徒会役員が所属する奉仕活動グループ「レオクラブ」の地域の清掃活動などを通じて多入高のイメージアップを図りたいと使命を語ります。

JRC部に所属する副会長の松本隆輝さん。「部活動に入学していない生徒にも地域の清掃活動などできることから始めてもらえるような企画を考えていきたい」と抱負を話し、多入高校のさらなる発展を目指した生徒会活動に取り組む決意を語りました。